

今月の

5冊



超人ナイチンゲール

栗原康=著

発行：医学書院

定価：2200円（本体2000円+税10%）

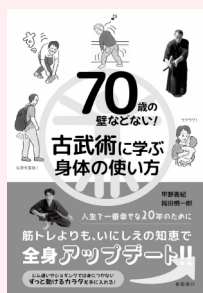
鬼才文人アナキストが、かつてないナイチンゲール伝を語り出した！ 著者はナイチンゲールがクリミアに赴く前に書いた自伝的小説『カサンドラ』で、彼女と出会った。その人は聖女でも合理主義者でもなく、ぶっとんでいて近代的個人のあり方をやすやすと超える人だった。そこに、誰も知らなかったナイチンゲールがいた。

70歳の壁などない！
古武術に学ぶ身体の使い方

甲野善紀、岡田慎一郎=著

発行：夜間飛行

定価：1760円（本体1600円+税10%）



古武術研究の第一人者と古武術介護の提唱者が、「身体の使い方」という視点から、年齢を重ねても元気に若々しく活躍し続けるための秘訣を探り、その知見や方法論を紹介する。立つ、座る、歩く、荷物を持つなどの日常生活動作にいにしへの知恵を注ぎ込み、ずっと動ける身体を手に入れよう。

わたしが誰かわからない
ヤングケアラーを探す旅

中村佑子=著

発行：医学書院

定価：2200円（本体2000円+税10%）



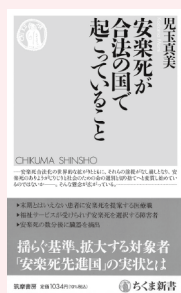
ヤングケアラーという言葉で括られることによって見えなくなってしまう、一人ひとりの多様な個のあり方に近づきたい。そんな思いで始まった取材はいつのまにか、同じくヤングケアラーであった自らの記憶をたぐりよせる旅に変わっていた。著者は立ち止まり、迷走し、そしてふたたび祈るように書き始めた。

安楽死が合法の国で起きていること

児玉真美=著

発行：筑摩書房

定価：1034円（本体940円+税10%）



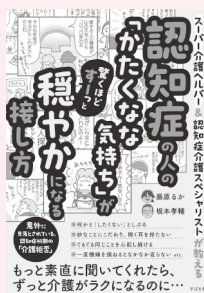
日本でも安楽死合法化をめぐる議論がある。著者は言う。『賛成か反対か』という粗雑な問題設定で語れるような性格の問題じゃない。安楽死の合法化に踏み切った国々では何が起きているのか、その実情を丁寧に解説する。「安楽死のありようがじりじりと社会のための命の選別と切り捨てへと変質し始めているのではないか」。

認知症の人の「かたくなな気持ち」が
驚くほどすーっと穏やかになる接し方

藤原るか、坂本孝輔=著

発行：すばる舎

定価：1540円（本体1400円+税10%）



認知症の人の「かたくなさ」。ここに悩む家族は少なくない。訪問介護ヘルパーとデイサービスの経営者の「認知症対応の手練れ」である2人がタッグを組んだ本書には、ケアのノウハウが満載。どう接すれば、認知症の人の気持ちを逆でせず、日々穏やかに過ごしてもらえるか。介護中の家族にも安心して薦められる1冊。